

M-GTA 研究会 Newsletter no. 14

編集・発行：M-GTA 研究会事務局（立教大学社会学部木下研究室）

メーリングリストのアドレス：grounded@ml.rikkyo.ne.jp

世話人：阿部正子、岡田加奈子、小倉啓子、木下康仁、小嶋章吾、坂本智代枝、佐川佳南枝、林葉子、福島哲夫、水戸美津子

第 36 回 研究会の報告

【日時】 2006 年 07 月 29 日(土) 13:00～17:30

【場所】 立教大学（池袋キャンパス）8 号館 8201 教室

【参加者 46+名】

荒井きよみ（千葉大学）・阿部康子（内子高校）・新鞍真理子（富山大学）・四十竹美千代（富山大学）・塚原節子（富山大学）・佐伯香織（名古屋大学）・大橋達子（富山赤十字病院）・塩谷久子（広島国際大学）・横山登志子（北海道医療大学）・堀内みね子（神田外語大学）・村上律子（神田外語大学）・徳永あかね（神田外語大学）・三輪久美子（日本女子大学）・平山恵美子（飯田女子短期大学）・藤田みさお（東京大学）・塩塚優子（青梅慶友病院）・林裕栄（埼玉県立大学）・山野則子（梅花女子大学）・青柳悦子（九州看護福祉大学）・石原和子（九州看護福祉大学）・都丸けい子（筑波大学）・福島哲夫（大妻女子大学）・高橋三江子（駒澤大学）・荒井昭子（日本福祉大学）・若林功（障害者職業総合センター）・秋鹿都子（島根県立看護短期大学）・山川裕子（佐賀大学）・京須希実子（東北大学）・日高潤子（目白大学）・鹿野裕美（仙台市立松陵中学校）・小嶋章吾（国際医療福祉大学）・市江和子（日本赤十字豊田看護大学）・今村桃子（聖マリア学院大学）・長尾秀美（聖マリア学院大学）・森美保子（専修大学）・清水寿子（お茶の水女子大学）・小倉啓子（ヤマザキ動物看護短期大学）・古村美津代（久留米大学）・林葉子（川村女子大学）・花輪祐司（りほく病院）・田尻明美（子どもの生活研究所）・立野淳子（山口大学）・相楽章子（山口大学）・木下康仁（立教大学）・松繁卓哉（立教大学）・佐川佳南枝（立教大学）、+（記録漏れの方）

【次回の研究会のお知らせ】

今回の第 37 回研究会は 10 月の予定ですが、日時、プログラムなどは後日お知らせします。
次々回、第 38 回研究会は 12 月 9 日(土)に立教大学で開催の予定です。

【内容】

今回は私が M-GTA の基本的な考え方について講義し、その後、質疑でした。M-GTA は一定の分析手順を明確化してはいますが、それよりも重要なのは考え方です。分析は選択的判断を重ねることになるため、その都度自分の判断を説明できる形で進める必要があります。判断のためには拠り所が必要となります。しかし、具体例をいくつか集めても判断の基準には無理で、考え方が重要となるのはそのためです。

参加された皆さん、それぞれに理解の深まる場所があったのではないのでしょうか。

今後も引き続き、学習と実践を深めてください。

（木下記）